

## 自閉スペクトラム症児・者の口腔の特徴と歯科治療時の配慮と工夫



小松 知子  
障がい者歯科診療部門 教授

自閉スペクトラム症（Autism Spectrum Disorder：ASD）は、社会的コミュニケーションの困難さ、限定された興味・行動、感覚の過敏や鈍麻など、多様な特性を有する神経発達症です。ASDのある児・者は、歯科診療に対して強い不安や恐怖を示すことが多く、診療環境への適応が難しい場合もあります。さらに、感覚過敏により口腔内への刺激に対して、拒否が強くみられることも多いです。また、治療の手順が予測できないことによる混乱やパニックが起こるなど、歯科治療の際には、ASDの特性に十分に配慮した適切な対応が求められます。

また、口腔ケアや歯科受診が継続して行えないことや偏食、反芻などにより、歯科疾患のリスクが高くなるため、幼少期からの口腔疾患の予防と口腔衛生管理が必要です。本セミナーでは、ASD児・者に特有の口腔内の特徴と行動特性を踏まえたうえで、初診時の関わり方、視覚的支援や構造化の活用などを含めた診療時の配慮と工夫、実践的な対応について症例を通して紹介します。

さらに、地域医療との連携においては、医科歯科の連携体制、多職種協働、地域の療育・福祉機関との情報共有が鍵となります。定期的な口腔管理を実現するためには、地域診療所・口腔保健センターとの連携、保護者への継続的な支援が欠かせません。地域包括ケアシステムの一環として、ASD児・者にとってやさしい歯科医療体制の構築を進めるために、私たち歯科医療従事者にできることを改めて考える機会としたいと思います。

### 【略 歴】

- 1991年 3月 神奈川歯科大学卒業
- 1991年 4月 同大・障害者歯科学講座助手
- 2002年 4月 同大・障害者歯科学講座講師
- 2008年 7月～2010年 8月 ポストン大学歯周病・生物学講座長期派遣研究員
- 2021年 4月 同大・全身管理歯科学講座障害者歯科分野 准教授
- 2022年 8月 同大・全身管理歯科学講座障害者歯科分野 教授（現在に至る）
- 2023年 4月 同大・附属病院副院長（現在に至る）

### \*主な所属学会等

- 日本障害者歯科学会副理事長、専門医指導医
- 日本老年歯科医学会代議員、専門医指導医
- 日本抗加齢医学会評議員、専門医
- 日本ダウン症学会 理事